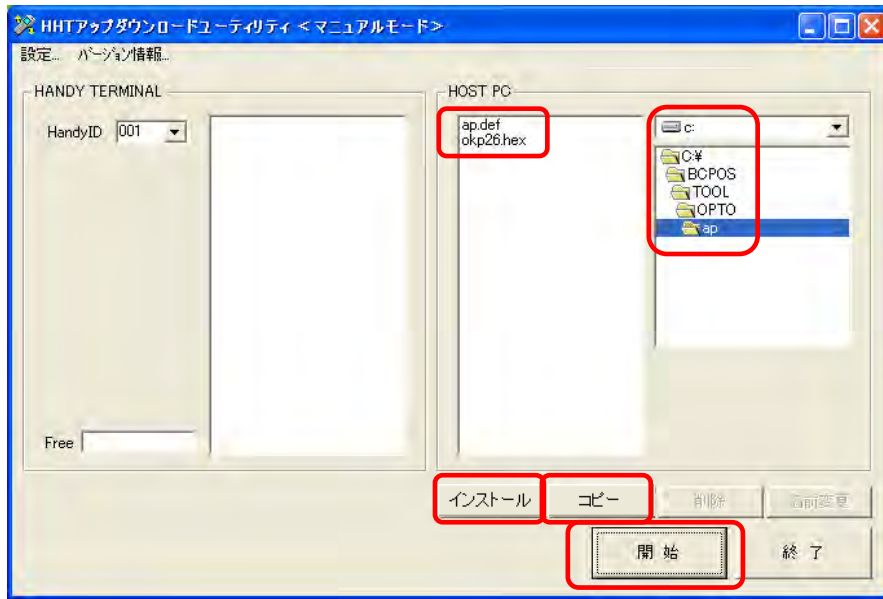


OPTO PHL-2600の初期設定手順

●OPTP PHL2600のプログラム再設定手順

●ハンディの初期設定



●ハンディにプログラムをインストールする

1. パソコン画面で「スタート」→「プログラム」→「HHTアップダウンロード2.0」より「マニュアルモード」を実行します。
2. ハンディターミナルの電源を切り、「0」+「ENT」を押しながら「PW」を押して電源を入れます。「F8」で「ローディング」を選択し「ENT」ボタンを押し、「F8」を押して「PCリモート」を選択して「ENT」を押します。ハンディを置き台にセットします。
3. パソコン画面の「HOST PC」の欄に「ap.def、okp26.hex」が表示されている事を確認して下さい(図参照)。表示されていない場合は画面右上の項目で「c:」を選択して、その下の欄で「c:¥」→「BCPOS」→「TOOL」→「OPTO」→「ap」を選択します(図参照)。「開始」ボタンを押して「HOST PC」窓より「okp26.hex」をクリックし、「インストール」ボタンをクリックします。
4. ハンディターミナル画面に「アプリケーション書込 正常終了」と表示されたら、「ENT」を押して再起動させて下さい。
5. ハンディターミナル再起動後、もう一度電源を落とし、「0」+「ENT」を押しながら「PW」を押して電源を入れます。
6. 「ユーティリティ」から「ローディング」を選んで「ENT」ボタンを押し、「PCリモート」を選択します。
7. 置き台にハンディをセットして「HHTアップダウンロード2.0」の「開始」をクリックし、ハンディの「PCリモート」で「ENT」ボタンを押します。
8. 「HHTアップダウンロード」にて、「HOST PC」窓より「ap.def」をクリックし「開始」ボタンを押し「コピー」ボタンをクリックします。
9. コピーが終了したら、ハンディターミナルを「PW」ボタンで再起動させます。
10. ハンディターミナル再起動後、「AP定義終了」というメッセージが表示されるので、「定義ファイル削除」を選択します。

以上で収集用アプリケーションの組み込みは終了です。

※ ハンディターミナルは単三電池とボタン電池が入っています。

ハンディ画面で単三電池マーク、ボタン電池マークが表示されている時は電池交換のサインです。

電池交換時、単三、ボタン両方を外すとプログラム、棚卸しデータが消えてしまいます。

プログラムが消えた場合は上記手順でプログラムを再インストールして下さい。

棚卸しデータの復旧は出来ませんので電池交換のサインが表示されたら速やかに電池交換して下さい。